

# としよだより



2がっき かえす・かりる



©座間市

## 12/20(金)まで

12/2 (月) よりあとにかりた本<sup>ほん</sup>は、ふゆやすみあけにかえせばだいじょうぶです ☺ ひとり3さつまでです。

1ねんせいも、20日まではとくべつに、ひとり3さつまでかりられます。

①「2日よりあとにかりた本<sup>ほん</sup>を、ふゆやすみもかりていたい」  
→手つづきはしなくてOK!

(パソコンでかりる期間<sup>きかん</sup>をのばしてあります)

※11/29 (金) までにかりた本<sup>ほん</sup>は1しゅうかんのきげんです。

②「いま、かりている本<sup>ほん</sup>はかえして、べつの本<sup>ほん</sup>をかりたい」  
「いま、かりていないが、ふゆやすみにはかりたい」  
→12/20 (金) までに、かりましょう。



12/2 (月) よりあとにかりた本<sup>ほん</sup>は、1/17 (金) までにかえしてください。



# おしょうがつ・へび の ほん

2025年<sup>ねん</sup>は「へび<sup>どし</sup>年」です



『 しめかざり 』  
森須磨子/文・絵 福音館書店

お正月<sup>しょうがつ</sup>にかざる、しめかざり。作る人<sup>つく</sup>やかざる場所<sup>ひと</sup>、地域<sup>ぼしよ</sup>によって、さまざま<sup>ちいき</sup>な形<sup>かたち</sup>があります。滋賀<sup>しが</sup>県<sup>けん</sup>大津<sup>おおつし</sup>市<sup>し</sup>では、「へび」がとぐろを巻いた形<sup>ま</sup>のしめかざりもあるそうですよ。

『 道成寺<sup>どうじょうじ</sup> 大蛇<sup>だいじゃ</sup>になった乙女<sup>おとめ</sup> 』 片山清司/文 白石皓大/絵 BL出版

おさないころにいただいた純粋<sup>じゆんすい</sup>な恋心<sup>こいごころ</sup>が、やがて乙女<sup>おとめ</sup>を大蛇<sup>だいじゃ</sup>のすがたにかえていき…。道成寺<sup>どうじょうじ</sup>の鐘<sup>かね</sup>にまつわる悲恋<sup>ひれん</sup>の伝説<sup>でんせつ</sup>をもとにつくられた能<sup>のう</sup>「道成寺<sup>どうじょうじ</sup>」の物語<sup>ものがたり</sup>。



『 毒<sup>どく</sup>をもつ生き物<sup>い</sup>たち<sup>もの</sup> へび、フグからキノコまで 』  
船山信次/監修 PHP研究所

へびの中には毒<sup>なかに</sup>を持っているもの<sup>どく</sup>もいます。  
生き物<sup>い</sup>のつくり出す毒<sup>だ</sup>について、その種類<sup>しゆるい</sup>や作用<sup>さよう</sup>をイラストや写真<sup>しゃしん</sup>でわかりやすく解説<sup>かいせつ</sup>していきます。



**3がっきのかいる・かえすは、**

**1/10(金)からスタートです。**

**としょおみくじ、やります！  
おたのしみに！**

